

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(市町総括表)
【単独・連携事業】

市町名	芳賀町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	与能世代間交流事業	総事業費					538,170	538,170
		うち市町支出額					468,000	468,000
		うち県交付金					234,000	234,000
2		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
3		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
4		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	0	0	0	0	538,170	538,170
		うち市町支出額	0	0	0	0	468,000	468,000
		うち県交付金	0	0	0	0	234,000	234,000

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市 町 名	芳賀町
事 業 名	与能世代間交流事業
事業主体の名称	与能自治会
代表者の名称	会長 黒崎 静夫
事業主体の所在	栃木県芳賀郡芳賀町大字与能343
事業主体の概要	・団体の目的:地域住民相互の親睦融和をもって住民の交流と町開発に寄与すること。 ・設立年月日:昭和43年4月1日 ・構成員等:141世帯
当該事業に係る地域の現状と課題	高齢化や少子化、そして多様化する生活様式などを背景として、人と人のつながりの希薄化が懸念され、当自治会も年々脱会者が散見される。町でも自治会への加入を呼びかけ加入促進をしているが、参加したい自治会イベントが少ない、参加者が毎回同じ人であるといった理由があり、加入者が減少傾向にあるため、その前提に「魅力ある自治会活動」の実践が必要不可欠となる。 また、従前はしもつかれを近所に振る舞うなど地域における交流文化があったものの、時が経つ中で、継承されず、地域の一体感が希薄化している現状にある。 こうした現状を踏まえ、時代に合ったアプローチを模索しながら、地域行事の存続と更なる活性化を目指し、世代を超えた人と人とのつながりの中で、地域の特色を活かして今後10年後、20年後を担う地域の若者の良き思い出づくりと、それらを通じて健全な人材育成を行っていくとともに、自治会の新規加入者を増加させ、将来につながる地域を作っていく必要があります。
事業目的	・自治会活動の意義や活動内容の理解促進 ・子どもたちの健全な人材育成 ・信頼関係や支え合いの関係を築く
事業概要	①観音まち親子縁日大会(R7.8.16) 地域の寺院(観音寺)境内を会場として、自治会と子ども育成会が連携し、世代間交流の促進および地域内外の参加促進を目的とした交流イベントを実施した。 首都圏に進学した学生が観音まち親子縁日大会に参加するため、お盆の時期に帰省し自主的に運営の補助をしてくれた。その際に、卒業後は地元に戻ってくれるように呼びかけを行った。そのような観点からすると、Uターン移住の検討者を増やすことは出来たのではと考えている。 事前に自治会役員及び育成会役員が協議し、地域住民が主体となって企画・運営を行った。当日は役員及び保護者に加え、学校運営協議会を通じて芳賀町全域から中学生ボランティア27名の参加を得ることができ、若年層の地域活動への参画促進につながった。 また、地元のお囃子保存会及び芳賀東小学校郷土芸能クラブによる演奏を実施し、地域文化の継承と発信の機会を創出した。これにより、従来参加の少なかった層や地域外からの来訪も見られ、地域住民間および来訪者との交流機会の拡大が図られた。 参加状況や交流具合を分析し、令和8年度以降に課題解決策を取り入れ事業を行う。 ②与能地区球技大会(R7.10.26) 地域住民の親睦の深化および世代間交流の促進を目的として、5地区対抗による球技大会(全6種目)を実施した。 今年度は小・中学生の参加枠を拡大し、幅広い世代が参加しやすい体制を整備した。また、選手登録制とし事前に参加者を周知することで、住民同士の相互認識の向上と交流促進を図った。 当日は雨天により一部種目の変更があったものの、柔軟に対応し円滑に運営することができた。さらに未就学児向けレクリエーション種目も実施し、多世代が参加する交流の場の創出につなげた。 これにより、地域内のつながり強化と、自治会活動への関心向上につながった。 各世代の視点で協議し、新たな課題を抽出し、令和8年度以降に課題解決に向けた活動を行う。 ③ウォーキング大会、太々神楽鑑賞(R7.11.30) 地域住民の健康増進及び多世代交流促進を目的として、未就学児から高齢者までが参加するウォーキング大会(約9km)を実施した。 五行川沿いのコースを活用し、自然環境を活かした地域資源の再認識の機会を創出した。ゴール地点の与能安住神社では、自治会役員による炊き出し(けんちん汁 約200食)を実施し、参加者同士の交流の深化を図った。 また、同日に開催された神社例大祭と連携し、伝統芸能である太々神楽の鑑賞機会を設けることで、地域文化への理解促進と継承意識の醸成につながった。
事業に係る市町総合戦略の目標及び KPI	地域コミュニティの充実 ・地域や町民の自主的な活動が盛んである(NSI値) R5 50.7→R9 55.0(目標) ・自治体加入世帯数 R5 3655世帯→R9 3620世帯(目標)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳				(単位:円)	
			令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	箇条書きで記載		・観音まち親子縁日大会 ・与能地区球技大会 ・ウォーキング大会、太々神楽鑑賞 ・正月飾りづくり、そば打ち体験 ・町の出前講座、しもつかれ試食会		・観音まち親子縁日大会 ・与能地区球技大会 ・ウォーキング大会、太々神楽鑑賞 ・正月飾りづくり、そば打ち体験 ・町の出前講座、しもつかれ試食会
事業費			538,170	538,170	600,000
市町支出金 (ソフト事業分)			468,000	468,000	300,000
うち県交付金			234,000	234,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	70,170	70,170	300,000

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	芳賀町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	与能世代間交流事業	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	468,000	
自治会費	70,170	
計	538,170	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	188,764	188,700	94,350	64	縁日謝礼、球技大会景品、ウォーキング参加賞、完歩賞、正月飾り謝礼、しもつかれ出品者謝礼
消耗品費	235,392	235,300	117,650	92	縁日催し物、球技大会景品入れ、太々神楽まき菓子等、正月飾り材料等、しもつかれ容器等
材料費	59,705	18,600	9,300	41,105	そば打ち
食糧費	36,769	7,900	3,950	28,869	しもつかれ
燃料費	5,920	5,900	2,950	20	縁日プロパンガス、正月飾りそば打ち灯油
役務費	400	400	200	0	縁日ごみ処理代、球技大会ごみ処理代、正月飾りそば打ちごみ処理代
賃借料	11,220	11,200	5,600	20	縁日綿あめ機レンタル
				0	
				0	
				0	
計	538,170	468,000	234,000	70,170	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合